

2けたの数のわり算 ①

(教科書 74 ~ 76 ページ)

4年

名

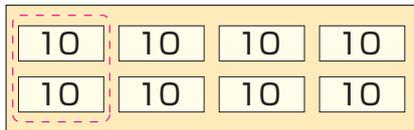
組 前



◆何十でわるわり算

80 ÷ 20 の計算のしかたを考えましょう。

① 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



20 ずつ^{かこ}囲んで
いくと…。



$$80 \div 20 = \square$$

② 80 ÷ 20 は、10 をもとにすると、 $\square \div \square$ とみることができます。

80 ÷ 20 の商は、 $\square \div \square$ の商と等しくなります。



140 ÷ 40 の計算のしかたを考えましょう。

① 10 をもとにして考えると、

$$14 \div 4 = \square \text{ あまり } \square \text{ だから、}$$

$$140 \div 40 = \square \text{ あまり } \square$$

10 をもとにした計算で
2 あまったのだから、
あまりは 2 ではないね。

② 答えのたしかめをしましょう。

$$\square \times \square + \square = \square$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数



4年	名	
	組前	



◆ 2けた÷ 2けたの計算

折り紙が68まいあります。1人に21まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまるでしょうか。

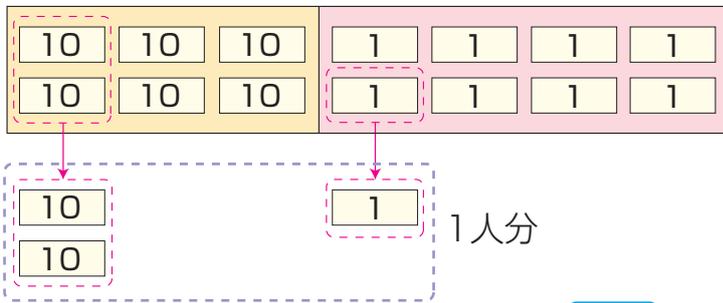
① どんな式で求められるでしょうか。

式



68の中に21がいくつあるかを考えるのだから…。

② 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



10 1
10 がいくつあるかな。



答え 人に分けられて、 まいあまる。

③ $68 \div 21$ の筆算は、次のようにします。

$\begin{array}{r} \text{①} \\ 21 \overline{) 68} \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 21 \overline{) 68} \\ \underline{63} \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 21 \overline{) 68} \\ \underline{63} \\ \text{③} \end{array}$
<p>① 商の3を一の位にたてる。</p>	<p>② 21に3をかける。積の63を68の下に書く。</p>	<p>③ 68から63をひく。</p>



わる数の21を20とみて、68の中に20がいくつあるかを考えると、かんたんに商の見当がつけられるよ。

④ 答えのたしかめをしましょう。

× + =

わる数 × 商 + あまり = わられる数



◆商の見つけ方

商しょうにどんな数ほんがたつか見当けんたうをつける方法ほうほうを考えましょう。

①

$$\begin{array}{r} 42 \overline{) 85} \end{array}$$

わる数の42を40とみると、
85の中に40が こ入るので
商しょうには をたてます。

②

$$\begin{array}{r} 32 \overline{) 95} \end{array}$$

見当けんたうをつけた商しょうが大きすぎたときは、
商しょうを順じゆんに小さくして、正しい商しょうを見つけます。

・わる数の32を30とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 3 \longrightarrow 2 \\ 32 \overline{) 95} \quad 32 \overline{) 95} \\ \underline{96} \quad \underline{64} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

・わる数の14を10とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 7 \longrightarrow 6 \longrightarrow 5 \\ 14 \overline{) 72} \quad 14 \overline{) 72} \quad 14 \overline{) 72} \\ \underline{98} \quad \underline{84} \quad \underline{70} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 14 \overline{) 72} \end{array}$$

わる数を大きめにみて商しょうの見当けんたうをつけて、順じゆんに
大きくして商しょうを見つけるほうがかんたんな場合
もあります。

・わる数の18を20とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 3 \longrightarrow 4 \\ 18 \overline{) 75} \quad 18 \overline{) 75} \\ \underline{54} \quad \underline{72} \\ \underline{21} \quad \underline{3} \\ \text{わる数の18より大きい。} \quad \text{わる数の18より小さい。} \end{array}$$

・わる数の18を10とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 7 \longrightarrow 6 \longrightarrow 5 \longrightarrow 4 \\ 18 \overline{) 75} \quad 18 \overline{) 75} \\ \underline{126} \quad \underline{72} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 18 \overline{) 75} \end{array}$$

◆練習

① $71 \div 23$

2	3)	7	1

② $85 \div 12$

)		

③ $65 \div 34$

)		

④ $95 \div 13$

)		

⑤ $68 \div 28$

)		

⑥ $82 \div 16$

)		

⑦ $176 \div 34$

)			

⑧ $308 \div 53$

)			

⑨ $135 \div 17$

)			

⑩ $549 \div 26$

)			

⑪ $786 \div 64$

)			

⑫ $632 \div 17$

)			



◆わり算のきまり

12 ÷ 4 と、^{しょう}^{ひと}商が等しいわり算を見つけましょう。

$$\begin{array}{c}
 12 \div 4 = 3 \\
 \downarrow \div 2 \quad \downarrow \div 2 \\
 \square \div \square = 3
 \end{array}$$

$$\begin{array}{c}
 12 \div 4 = 3 \\
 \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\
 \square \div \square = 3
 \end{array}$$

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、

は変わりません。



^{しき}式の数が変わると、答えはどのように変わるか調べましょう。

かけ算

$$20 \times 3 = 60$$

$$\begin{array}{c}
 20 \times 3 = 60 \\
 \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times \square \\
 20 \times 30 = \square
 \end{array}$$

$$\begin{array}{c}
 20 \times 3 = 60 \\
 \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times \square \\
 200 \times 30 = \square
 \end{array}$$

わり算

$$60 \div 3 = 20$$

$$\begin{array}{c}
 60 \div 3 = 20 \\
 \downarrow \times 10 \quad \downarrow \div \square \\
 60 \div 30 = \square
 \end{array}$$

$$\begin{array}{c}
 60 \div 3 = 20 \\
 \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \downarrow \square \\
 600 \div 30 = \square
 \end{array}$$

4年	名	
	組前	



◆わり算のきまりを使った計算

4200 ÷ 600 を、わり算のきまり^{つか}を使ってくふうして計算しましょう。

$$4200 \div 600 = 7$$

$$\begin{array}{r} \downarrow \div \square \\ 42 \end{array} \quad \div \quad \begin{array}{r} \downarrow \div \square \\ 6 \end{array} = 7$$

$$\begin{array}{r} 7 \\ 600 \overline{) 4200} \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$$



100 をもとにしたわり算と同じ考え方だね。

それぞれ 100 でわるから、0 を 2 こずつ^け消して…。



4200 ÷ 600 のようなわり算では、わられる数とわる数の を同じ数だけ^け消して計算することができます。



4500 ÷ 800 を、わり算のきまり^{つか}を使ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r} 5 \\ 800 \overline{) 4500} \\ \underline{40} \\ 5 \end{array}$$



あまりは 0 を消した分だけ 0 をつけたせばいいね。

4500 ÷ 800 = あまり